

株式会社BREXA Avance

OBIC7とkintoneなどのシステム連携で年間約1,380時間の業務工数を削減 Core+による連携でkintoneプラグイン導入に比してコスト削減とパフォーマンス向上を実現

株式会社BREXA Avanceは、日系ブラジル人をはじめとする外国人材に特化した人材サポートを提供している。製造業務向け請負サービスの開始以来、独自のノウハウと知見を強みに、製造業を中心とする顧客の人材ニーズに応じている。同社では、人材採用部署を中心に、Excelによる業務データの管理をしていた。しかし、データの散在による二重管理が発生し、管理負荷が増大していた。そこでデータの一元管理のため、kintoneを導入。kintoneアプリ間連携に加え、基幹システム「OBIC7」、勤怠管理システム「CYBER XEED」、資産管理システム「Snipe-IT」との業務データ連携を自動化する仕組みを構築した。これにより、人的な作業負荷とコストの大幅な削減に成功し、kintoneによる業務データの一元管理を実現した。

導入背景

- 業務データをExcelにより個別管理していたため、散在するデータの管理が煩雑化していた
- OBIC7にデータを取り込むためのCSV変換作業や、勤怠管理システム、資産管理システムへの手入力に多大な手間を要していた
- データの一元管理を目的にkintoneを導入したが、アプリ間の自動連携や計算ができず、プラグイン導入による対応は、コスト面が課題に

選定ポイント

- kintoneで提供されているプラグイン導入や、JavaScriptでの処理構築に比べ、大幅にコストを削減でき、APIも制約なく利用できる
- 約1万件のデータ連携処理では、プラグイン利用時に20~30分かかったが、Core+なら1~2分で完了し、処理性能が大幅に改善された
- 豊富なアダプターが用意されており、将来のシステム連携ニーズにも柔軟に対応可能

効果

- kintoneのアプリ間連携、kintoneアプリとOBIC7の連携自動化、IT資産管理システムへの人事マスターの自動連携などにより、年間約1,380時間の業務工数を削減
- kintoneで提供されるプラグインの導入による実装に比べて、開発コストを約5分の1に削減
- ノーコードの開発環境により、内製でデータ連携の仕組みを迅速に構築できる体制が整った

システム概要



ユーザーの一言



「ASTERIA Warp Core+」のメリットはノーコードで簡単に開発できる点です。導入当初は疑問点にも直面することもありましたが、「ASTERIA Park」というアステリアのコミュニティサイトを参照することで、すぐに解決できました。現在、実際に開発に当たっているのは私ひとりですが、最近では、新たに情報システム部の人員に対する教育も開始しています。今後は開発者を増員し、業務部門の担当者もWarp Core+でシステム開発を行い、部門全体で業務を効率化できる体制を整備したいと考えています。

株式会社BREXA Avance アプリケーションシステム課 熊田 瑞生 様

User Profile

BREXA
AVANCE

所在地：愛知県名古屋市中村区名駅南1-11-12

会社概要：日系ブラジル人をはじめとする外国人材に特化した人材サービス、製造業務請負

URL：https://avance.brexa.com/